



令和5年6月30日

国土交通省関東地方整備局

国営昭和記念公園事務所

そなエリア東京リニューアルオープン

～2F 防災学習ゾーンのリニューアル～

国営東京臨海広域防災公園内「そなエリア東京」において改修を進めてきた防災学習ゾーンについて、6月30日(金)にリニューアルオープンします。

このたび、首都直下型地震に対するそなえを学ぶ防災体験学習施設「そなエリア東京」(※)において、防災学習ゾーンをリニューアルし、具体的なそなえを主体的に学び、持ち帰って実践につなげる学習展示へと刷新しました。

いざというときに自分や大切な人を守るために、誰もが知って欲しい「そなえ」と、一人ひとりに必要な「そなえ」について、より主体的に学べる場となっています。

多くの皆さまのご来場をお待ちしています。

※ 年間2,000団体以上の皆様に利用頂いています(令和元年度実績)

リニューアルオープン日：令和5年6月30日(金)

開館時間：9:30～17:00

内容、取材方法については、次頁をご覧ください。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 都庁記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 国営昭和記念公園事務所

電話：042-524-1516(代表)

副所長 新藤 勝巳(内線：205)

電話：03-3529-2171(国営東京臨海広域防災公園)

地域防災調整官 水田 仁志(内線：381)

そなエリア東京 防災体験学習施設

国営東京臨海広域防災公園(そなエリア東京)の防災体験学習施設は、1F防災体験ゾーンと2F防災学習ゾーンがあります。2か年に分けてそれぞれのゾーンのリニューアルを行ってまいります。
来年、完全リニューアルします。

1F 防災体験ゾーン 首都直下地震の発災から避難までの流れを体験

●地震発生後 72 時間の生存力をつける、体験学習ツアー
 タブレット端末を使って「防災クイズ」に挑戦、「AR 体験」で危険箇所を確認
 音響・照明・映像により余震が繰り返されるジオラマの中を、タブレット端末を使ったクイズで注意警報を確認しながら避難所へ移動します。市の防災館では首都直下地震の再現 CG 映像を上映しています。

1 エレベーター内 首都直下地震発生

●駅ビルのエレベーターで降中中に震度 7 の地震が発生。床が揺動し、エレベーターが緊急停止します。

2 従業員通路 狭い通路からの脱出

●エレベーターから降りると、停電した暗闇の従業員通路です。避難誘導灯と非常放送に従って出口を目指します。

3 再現被災市街地 市街地の危険箇所確認

●余震が繰り返される駅前商店街や住宅地のジオラマを移動して、タブレット端末でクイズに答えます。
 ●2 つのシナリオで何度もツアーを楽しめます。
 ※外出先で地震にあったら? ※自宅の住むでまだ地震にあったら?

エントランスホール 体験ゾーン入場待ちスペース

●休憩スペースとしてご利用いただけます。
 ●カフェで防災グッズや非常食を購入いただけます。



6 津波避難体験コーナー 津波の特徴を知る

●映像や壁面グラフィックで、津波について正しい知識を身につけます。

5 再現避難所 避難生活の心構え

●AR と連動した実物展示で体育館の避難所生活を体験し、自助・共助の大切さを学びます。
 ●記念設置と AR 大画面で、余震の揺れを疑似体験します。

4 再現被災市街地 市街地の危険箇所確認

●余震が繰り返される駅前商店街や住宅地のジオラマを移動して、タブレット端末でクイズに答えます。
 ●2 つのシナリオで何度もツアーを楽しめます。
 ※外出先で地震にあったら? ※自宅の住むでまだ地震にあったら?

エレベーターホール 体験ツアーの出発点

●「東京直下 72h ツアー」の受付やタブレット端末の貸し出しを行います。



リニューアル第一弾の今回は、
2F 防災学習ゾーンです

2F 防災学習ゾーン

首都直下地震特設コーナーをはじめとした様々な学習プログラムを
 体験いただけます。

オペレーションルーム見学

●発災時に使用されるオペレーションルームを見学しながらご体験いただけます。

PC コーナー

●PC のコーナー

災害防犯学習コーナー

●自然災害や人為的災害の発生メカニズムや被害の拡大、防災の意識や、自助・共助の大切さを学びます。

首都直下地震特設コーナー

●首都直下地震の危険性や被害を、AR プロジェクションマッピングやパネルで学びます。



レクチャールーム

●「防災」をテーマにした各種学習プログラムや講座などにご利用いただけます。ご利用の際は別途申込みが必要です。管理センターまでお問い合わせください。

映像ホール

●2009 年にフジテレビほかにて放送されたアニメ「東京マゲキョード 8.0」を、この施設内に再構築した「東京マゲキョード 8.0」東京直下 72h を、大型プロジェクターで上映します。

自助体験コーナー

●防災グッズの展示や工作、筆記などを見て触れて、実践的な学びを体験します。

事例に学ぶ自助の知恵コーナー

●阪神・淡路大震災、新潟県中越地震、東日本大震災の現場体験から自助の知恵を学びます。

地域情報コーナー

●PC で自分の地域の防災情報にアクセスし、自助・共助につながる知識を深めます。



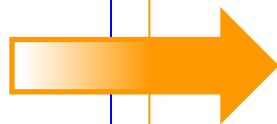
6月30日(金)リニューアルオープン

そなエリア東京 2F防災学習ゾーンリニューアルの概要

今までは、くらしの中でできるそなえの知恵や自助・共助の必要性を展示や模型に触れ学ぶものでした。



今回のリニューアルでは、1F体験ゾーンで疑似体験した災害時のそなえを振り返り、学びます。



Step 1: 基本のそなえをチェックし、最新防災グッズを見てみよう。

【壁のパネル】



<チェック欄>

Step 2: 一人ひとりそれぞれ必要なそなえパネルを探そう。

【床のパネル】



基本のそなえ

自分のそなえ度を確認し、すぐに取り組んでほしい基本的なそなえを学ぶゾーン。

きほんのそなえゾーン

一人ひとりのそなえゾーン

一人ひとりのそなえ
自分自身にとって必要となる具体的なそなえを学ぶゾーン。

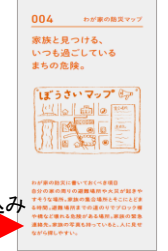
Step 3: QRコードでそなえカードを読み込んで持ち帰ろう。

【壁のパネル】



QRコード読み込み

<そなえカード>



イメージパース

【そなエリア東京】

地震発災時には、東京湾臨海部基幹的広域防災拠点として災害対応を行う施設となります。
 平常時には、国営東京臨海広域防災公園として防災訓練、体験学習、地域の方の憩いの場として利用されております。

東京臨海広域防災公園

【取材の申込み】

ホームページを見ていただくか管理センターまでお問い合わせください。

TEL 03-3529-2180

【ホームページ】

<http://www.tokyorinkai-koen.jp/>



[最寄駅]

りんかい線 国際展示場駅より徒歩4分
 ゆりかもめ 有明駅より徒歩2分

[公園のご利用に関するお問合せ]

管理センター

〒135-0063 東京都江東区有明3丁目8番35号
 TEL 03-3529-2180 FAX 03-3529-2188